



あいさつ、たすけあい、見守りあいなど、 「愛」のあふれる地域を一緒に作りましょう

“ちょっとした気づかい”が、「見守り」につながります。



知る

障がいのある方は、障がいの特性や感覚の違いなどから、不安を解消したいなどの思いで様々な行動をとったり、周りの人の助けを必要とすることがあります。



次は、〇〇駅～、
次は、〇〇駅～



今日も
福祉作業所で
お仕事だったのね

思いやる

子どもが泣いたり叫んだりしているとき、親はどうしたらよいのか不安でいっぱいです。

例えば、バスや電車内で泣き止まない状況の時には、あたたかい眼差しで見守ってもらえるだけで、安心につながります。



いろいろな形の「見守り」があります。

地域の中でお互いのことを「知る」「思いやる」「声をかける」、
できることから無理せずに、あなたの一歩から「見守り」が始まります！

声をかける

認知症の方は、暮らしの中でちょっとした違和感を覚えていて、不安でいっぱいです。

あたたかな声かけが安心につながります。

どちらに
おかけですか？



声かけのポイント

- 1.相手の視野に入っておだやかに
- 2.ゆっくり・はっきりと、急かさずに
- 3.相手のことばに耳を傾けて



民生委員・児童委員、シルバークラブ（友愛活動）、学援隊、港南ひまわり83運動、認知症サポーター、見守り協力事業者、防犯パトロールなど、地域の中では多くの皆さんに見守り活動に取り組んでいただいています。